



9月5日（木）、75年前から生徒会主催で実施している伝統ある音楽会を県伊那文化会館大ホールで開催しました。

ほ とんどのクラスは、夏休みから練習に励んでおり、1週間ほど前には朝や放課後に教室や音楽室、中庭などで熱心に練習してきました。当日の午前中も会場でのリハーサル前に入念な練習をそれぞれで行っていました。

合唱曲を決めてからパート練習、全体練習を繰り返して練り上げ、仲間みんなでひとつのことを成し遂げようとする過程は、貴重な体験であり、それぞれの生徒が成長していくきっかけになるものと思います。



中庭にて練習に励む生徒(当日午前中)

開 会式での校歌斉唱は、学芸委員長の3E 関伊埜里さんによる指揮で、全員起立して3番まですべて斉唱しました。今回の校歌斉唱を聞いていて、昨年度より声量が大きかったと感じました。他の式典などで校歌を歌っている姿と比べてもはるかに大きな声で歌っていて、私はこの時点で感動していました。

生徒の皆さんの意気込みが伝わってくるオープニングとなりました。



開会式での校歌斉唱

1 年生、2年生、3年生の順番で歌い、すべてのクラスが、それぞれの個性あるハーモニーを奏でてくれ、今年度も心揺さぶられる音楽会となりました。

昨年度も感じたことですが、やはり3年生の気迫は“すごい”と思います。声量や曲の完成度が高く、他学年を圧倒する力を見せていました。最後の音楽会への思いの強さが現れていると感じました。



最優秀賞3Bの合唱の様子

成績は以下の通りです。

最優秀賞 3B
優秀賞 3E 2C
審査員特別賞 2B 1B
ベストコンダクター賞 3E 有賀拓望さん
ベストピアニスト賞 2B 市ノ羽竜ノ輔さん